

みんな かがやく

平成22年3月9日(火)

東広島市立川上小学校 生徒指導部

6年生ありがとう

4日(木)、交通班班長交代式を行いました。これまで交通班の登下校の安全を6年生の班長がしっかり守ってくれました。5日(金)から5年生や4年生が班旗を持ち、6年生のアドバイスをもらいながら班長としてがんばっています。ぜひ、励ましの声をかけてあげてください。

6年生のみなさん、これまで御苦労さま、そして、ありがとう。

防犯教室、薬物乱用防止教室を実施

6年生を対象に、防犯教室と薬物乱用防止教室を実施しました。

防犯教室は、県警OBで現在スクールガードリーダーをされている深屋さんにお話をいただきました。ルールを守ることの大切さについて強調され、一時の興味で暴走族に入り、後悔した少年の話なども例として話されました。一度暴走族に入ると、抜けることが困難であること、誘われて困ったら家の人、学校の先生や警察に相談することなどの話に、6年生は真剣に耳を傾けていました。



また、学校薬剤師の今井さんを招き薬物乱用防止教室を行いました。薬物のおそろしさについて映像で見た後、お話を伺いました。「薬物には依存性があり、やめられなくなる」、「薬物は脳を破壊する」、「1度壊れた脳はもとにもどらない」ということを強調されました。また、「スピード」など薬物だとは分からない言い方を使ったり、「気持がすっきりするよ。」など軽いことばで誘ったりしてくることが分かりました。



いろいろな情報があふれ、様々なことに興味を持つ子どもたちに、保護者が「ダメなものダメ!」と言える強さを持ちたいですね。学校も保護者と協力してお子さまの健全育成に努力していきたいと思っております。

火遊びに注意を!

学校に捨てられる菓子の包み紙などは依然としてなくなりませんが、ゴミの量は減ってきました。保護者の協力により子どもたちが意識するようになった結果だと思っております。

一方で気になる様子があります。休み明けに体育館南側(県道側)に燃やされた跡があるゴミが捨てられていたということが何回か続きました。全校朝会で実際にそのゴミ袋を児童に見せながら話をしたり、学級指導を行ったりしました。指導の中で「火遊びは絶対にいけない。もし火が燃え広がり、火事になったら、家、財産そして命まで奪うことになるかも知れない。」という話をしました。

家庭ではライター、マッチやチャッカマンなどをお子さまの手の届かないところに保管されますよう気をつけていただき、火遊びを絶対にしないよう話をしていただきたいと思っております。

思いやりの心を

最近、児童の友だちどうしの会話を聞いていると、思いやりに欠ける言葉や相手を傷つける言葉を耳にします。2月9日(火)付けの中国新聞に、次のような投書がのっていました。

学校は集団生活をする場です。大勢の人間がいっしょに生活すれば、トラブルや衝突は避けられません。だからこそ、おたがいに思いやりの心が必要なのだと思います。軽い気持ちで言った一言でも、言われた本人にとってはとても傷つくということがあります。そしてそのようなことがエスカレートしたり、集団で行われたりすると「いじめ」につながります。

今年度も残り少なくなりました。子どもたちがおたがいに気持よく、充実感を持って学年を終われるよう学校でも継続して指導していきますので、家庭でも思いやりの心についてお子さまと話をしてあげてください。

また、本校では「いじめは絶対に許さない。」ということを児童に言い続け、取組みを続けています。お子さまが悩みを抱えているような様子がありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。

高校生 16歳
めったに涙を見せない母が私たちの前で泣いた。私と妹が口げんかです。ちからからともなく「死ね」と言った時だった。横で聞いていた母が突然「本心じゃなくても、そんな言葉は絶対言っちゃあいけん」と涙を流し顔を赤くして私たちをしかつた。
何年かぶりに泣く母を見て、私は最近この言葉を使っているのを思い出した。それは冗談だった。少し腹が立った。りした時だった。
ちよつとした拍子にほろつと

出ている。もちろん本気で「死ね」と思っているのではないが、口癖のようになっていた。
昔、母も厳しかった親類の人に一度だけ「死ね」と言ったらしい。すると、その人はその日に倒れてしまい、母は「自分があんなに言ったからだ」と後悔したそうだった。
「死ね」とは重い言葉だ。今まで平気で口にしていて自分自身が恥ずかしい。言ってしまった言葉は取り返せない。二度とその2文字は使わないと決めた。
(呉市)